

## はしがき

手島孝先生（九州大学・熊本県立大学名誉教授）に監修者となつていただき、私が編者を務めて、『基本憲法学』と題した教科書を出版したのは丁度20年前の1992年のことであつた。この企画はその後メンバーを少しずつ変え、またタイトルも『新基本憲法学』（2002年）、『憲法新教科書』（2007年）と変えながら最近まで続いてきた。幸いこれらは多くの学生諸君に利用していただいたが、この度上記のように最初の企画から20年を経たこともあり、またそのことと連動して執筆メンバーにも多くの新しい世代の方々に入つていただくことが望ましいと考え、従来企画は終了とし、『エッセンス憲法』として新たにスタートすることにした。

幸運にも私と直接間接に交際のある方々がそうした趣旨を理解し参加して下さつた結果、本書はこうして2012年に予定どおり出発することができた。ねらいはこれまでの企画と同様、「日本国憲法」、「憲法Ⅰ・Ⅱ」あるいは「人権論・統治機構論」等の名で行われる憲法の講義において中心的にふれられる事項、すなわち憲法のエッセンスを最新の学説や判例を取り入れつつ、できるだけ平易に解説して、学生諸君の勉学を助け、促進することであるが、ほぼ半数は新しいメンバーであるため、上に挙げた従来書にはない新たな視点や説明が随所にあると自負している。忙しい中力のこもつた原稿を寄せて下さつた執筆者の方々には心からお礼を申し上げるとともに、本書が永く続き、ねらいどりに学生諸君の勉学の役に立つことを願つてやまない。

なおいつもながら企画段階から最終段階までお世話下さつた法律文化社の秋山泰氏にも心からお礼を申し上げるとともに、執筆に加え索引の作成も引き受けて下さつた井上准教授には重ねて感謝したい。

2012年3月15日

安藤 高行